

2026

履修ガイド

〈2026年度入学生〉

IPU



学籍番号

氏 名

2026 IPU東京 履修ガイド



はじめに

履修ガイドについて

この『履修ガイド』は、教育課程、履修方法などの学修に関する事項や、免許・資格取得に必要な科目履修方法など、本学での学修を進めていくうえで必要な事項を集約したものです。在学期間の中で計画的に学修し、卒業要件単位を修得するために、まずこの履修ガイドを最後まで読み、内容についてよく理解をしましょう。履修登録や各種手続きについては、「オリエンテーション」で詳しく説明されます。また不明な点については、自分だけで判断せずに早めに教務課やメンター・ゼミ担任教員に相談するようにしてください。『履修ガイド』の内容に変更が生じた場合は、UNIVERSAL PASSPORT で随時お知らせします。

オフィス・アワーについて

学生からの質問対応、学修に対する動機づけ、教員とのコミュニケーションなどを目的として「オフィス・アワー」を教員ごとに設けています。あらかじめ担当教員が示す特定の時間帯（毎週2回）に、研究室内外で教員との交流を深めていきます。ぜひこの機会を活用して、学習上の成果を上げてください。なお、各教員の「オフィス・アワー」の時間帯については、掲示物等で随時確認するようにしてください。

第1章 学修

1. 履修の手引き	… P 3
(1) 授業時間割表	… P 3
(2) 授業概要(シラバス)	… P 4
(3) 履修登録	… P 4
(4) 単位のルール	… P 5
2. 教育課程	… P 6
(1) 教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)	… P 7
(2) 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	… P 8
(3) 教育課程表	… P 8
1) 国際経済経営学部 国際経済経営学科	… P 10

1. 履修の手引き

卒業に必要な履修科目および単位の修得方法は、本学学則や履修規程に定められています。

「履修」とは、履修申請を行った講義を通しての学習状況・出席状況および試験（レポートなど）による成績評価の結果、合格と判定されその授業科目の配当単位を修得することをいいます。

本学では多彩な授業科目を開設していますが、それらを学び十分な学習成果をあげるためには、将来を見据えた教育者・指導者像を思い描き、それぞれの学習目的に沿った体系的な履修計画をたてることが重要です。そのうえで、免許・資格科目の履修を含め、目的に応じて卒業に必要な単位数を修得しなければなりません。

(1) 授業時間割表

『授業時間割表』は、年度ごとに作成され、当該年度に開講されるすべての授業科目、授業コード、配当年次、実施学期（第1～4クォーター・通年・集中）、担当教員および教室などを掲載したもので、年度当初に全学生にUNIVERSAL PASSPORTで配布されます。

履修科目の決定および履修登録に際しては、この『授業時間割表』を活用してください。なお、開講授業科目の授業コード・曜日・時限は毎年度同じとは限りません。

(2) 授業概要（シラバス）

『授業概要（シラバス）』は、授業開始に先立って、授業計画をあらかじめ知らせ、学習意欲の向上、学修内容の充実を図ることを目的に作成されています。教養科目、専門基礎科目、コア科目、その他の科目といった科目区分ごとに体系的にまとめ、それぞれ共通科目、および専門科目の順で編成されています。授業概要はUNIVERSAL PASSPORTにおいて閲覧することができます。

<授業概要記載項目>

科目コード、科目区分、授業科目名、担当者名、配当年次、配当学期、単位数、授業方法、卒業要件必修・選択の別、授業の概要、授業の到達目標、授業の方法、準備学習（予習・復習等）、成績評価方法、教科書・参考書、授業計画など

(3) 履修登録

履修登録とは、学生自身が自分の責任において自分の履修したい授業科目を予め届けでることです。もし、履修登録を怠ると、試験も受けられませんし単位認定もありえない重大な事態に陥ります。履修登録期限日までに必ず全員、履修登録をしてください。どの授業科目を受講しどのように単位を修得するかは、大学入学時の目標や将来への方向づけと極めて関連の深い問題です。この機会にこれらを再確認のうえ、自己理解を深めて、将来への自分の人生設計を確立しておきましょう。

年度当初のオリエンテーションで履修ガイダンスを行いますので、必ず出席してください。やむを得ない理由で欠席する場合は、ゼミ担当教員または大学にあらかじめ連絡をしてください。

<履修登録の流れ>

- (1) 1年次オリエンテーションで配布される「時間割表」を参考に、履修科目を選択してください。
- (2) 学年暦の履修登録期間もしくは履修登録訂正期間中に、UNIVERSAL PASSPORTで履修科目を登録してください。
- (3) 履修登録後、内容に間違いはないかどうか確認し、時間割表をスクリーンショット（またはプリントアウト）し、必ず保管してください。
- (4) もしエラーが表示された場合は、エラーの内容を確認し、履修登録の注意事項が守られているか確認してください。履修登録の注意事項を守っているにもかかわらず、エラー表示が解消されない場合は、エラー画面をスクリーンショットし、ゼミ担当教員に画像を提出してください。

- (5) 第3クォーター最初の1週間に履修訂正期間を設けますので、UNIVERSAL PASSPORTで第3.4クォーター分の履修訂正をしてください。
- (6) 第1クォーター・第3クォーターの履修登録期間終了後に履修登録辞退を受付けます。詳細はUNIVERSAL PASSPORTで連絡します。
- (7) 実習教科や集中講義の中には、別途履修登録が必要となるものも含まれます。

＜履修登録注意事項＞

- (1) 履修登録をされていない科目は、いかなる理由があっても単位認定できません。
- (2) カリキュラムの年次配当にしたがって、該当する学年・学期の開講科目を履修登録してください。
- (3) 上級年次配当の科目は履修登録できませんが、下級年次配当の科目は履修登録可能です。
- (4) 初回授業で履修人数を抽選する科目もあります。初回の授業に欠席した場合、履修登録が出来なくなる可能性があります。
- (5) 初回の授業で抽選による履修人数制限を行う科目もありますので、履修登録を考えている科目の授業には必ず出席してください。
- (6) 同一曜日・時限においては、1科目しか履修登録できません。
- (7) 同一科目を同一年度に重複して履修登録できません。
- (8) 単位修得済みの科目については再履修登録ができません。
- (9) 履修登録訂正期間に登録エラーの訂正を行わなかった科目は、履修登録できません。
- (10) 病気等やむを得ない理由で所定の期間内に履修登録できない場合は教務課に申し出てください。

●履修登録単位数の上限

本学では、1年間に履修登録できる単位数の上限を設定しています。上限単位数は、第1.2クォーターで24単位、第3.4クォーターで24単位です。

●他学部・他学科の科目履修

学生は、履修規定に基づき、本学他学部及び他学科において開講する科目を最大20単位まで履修することができます。履修の条件等は「他学部・他学科履修等に関する内規」を確認してください。

本学他学部及び他学科において履修した単位は、24単位までを修得単位として卒業要件単位に算入することができます。

(4) 単位のルール

大学の授業は、「単位」の考え方をもとに行われています。「単位」とは、授業科目の修得に必要な学習量をはかる基準となるものです。開講する授業科目にはそれぞれ単位数が定められており、この単位を修得するためには、所定の時間を学習して試験その他の方法により合格しなければなりません。卒業の判定はこの修得した単位数に基づいて行われます。

また、卒業のために必要な単位数は124単位以上となっていますが、数字上で124単位を満たしていても、定める科目区分ごとに必要単位を満たさなければなりません。なお、卒業に必要な授業科目区分ごとの修得すべき単位数については後述します。

●単位の計算方法

本学では、次のように定めています。

学 則 第24条

授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義、演習、及び講義・演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習、及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

2. 教育課程

(1) 教育課程の編成と特色

本学の教育課程は、共通の「教養科目」と、各コースの「専門科目群（専門基礎科目、コア科目など）」とによって分類されています。これは、従来の大学で行われてきた一般教養科目・専門科目という分類方法に代わる本学独自の授業科目区分です。

さらに教育上の目的に応じた科目区分を設けることで、有機的・体系的に授業科目が配置された教育課程編成となっています。これにより、専門的な学芸を教授するとともに、幅広く深い教養および総合的な判断力を培っていきます。

また各授業科目は、必修科目、選択科目および自由科目に分けて各年次に配当されています。

①必修科目…卒業するために必ず履修しなければならない科目

②選択科目…一定の科目群の中から選択して履修する科目

●教養科目

教養科目は、「言語・文化領域」「汎用的技能領域」「リベラルアーツ領域」「キャリア領域」の4つの領域で構成されており、人間とそれを取り巻く文化的・自然的環境への理解を深め共感を抱くこと、また自己啓発意識を育むことを目標としています。

科目区分	
教養科目	言語・文化領域
	汎用的技能領域
	リベラルアーツ領域
	キャリア領域

●専門科目群〔専門基礎科目・コア科目〕

(1) 専門基礎科目

社会人としての人間形成と幅広い教養、柔軟な思考を身につけることと専門科目の基礎を構築し、広い視野と国際感覚を涵養することを目的とした科目です。

(2) コア科目

専門性を深めるための専門科目で、科目区分は次のとおりとなっています。

科目区分		履修方法
専門基礎科目	経済経営領域	必修科目14単位を含む 24単位以上
	国際経済経営領域	
	国際コミュニケーション領域	
	情報システム領域	
	ホテル・観光領域	
コア科目	経営総合領域	必修科目8単位を含む 46単位以上
	情報システム領域	
	ホテル・観光・ホスピタリティ領域	
	キャリア領域	
	ゼミナール	

国際経済経営学部（教育課程の編成方針[カリキュラム・ポリシー]）

本学部では、「卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」に掲げる資質・能力を修得できるようにカリキュラムを編成し、教育評価を行う。

○教養科目では、豊かな人間性や幅広い教養と実践力の修得を促すため、4領域（言語・文化、汎用的技能、リベラルアーツ、キャリア）に分類して指導する。

○専門基礎科目では、ビジネスの基礎となる知識とともに、世界の経済状況を把握する力の修得を目的として、「経済経営」、「国際経済経営」、「国際コミュニケーション」「情報システム」「ホテル・観光」の5領域で指導する。

○コア科目では、「経営総合」「情報システム」「ホテル・観光・ホスピタリティ」「キャリア」の4領域を配し、各分野における実践力向上を目的として、専門科目の体系的な学修を通じて理論と実践の融合を図る。

教養科目の開講科目数・単位数

科目区分	必修科目	選択科目	計
言語・文化領域	1科目・2単位	4科目・8単位	5科目・10単位
汎用的技能領域	2科目・4単位	9科目・16単位	11科目・20単位
リベラルアーツ領域	—	7科目・14単位	7科目・14単位
キャリア領域	7科目・10単位	2科目・4単位	9科目・14単位
計	10科目・16単位	22科目・42単位	32科目・58単位

専門基礎科目の開講科目数・単位数

科目区分	必修科目	選択科目	計
経済経営領域	7科目・14単位	9科目・18単位	16科目・32単位
国際経済経営領域	—	6科目・12単位	6科目・12単位
国際コミュニケーション領域	—	5科目・10単位	5科目・10単位
情報システム領域	—	9科目・18単位	9科目・18単位
ホテル・観光領域	—	4科目・8単位	4科目・8単位
計	7科目・14単位	33科目・66単位	40科目・80単位

コア科目の開講科目数・単位数

科目区分	必修科目	選択科目	計
経営総合領域	—	20科目・40単位	20科目・40単位
情報システム領域	—	8科目・16単位	8科目・16単位
ホテル・観光・ホスピタリティ領域	—	12科目・22単位	12科目・22単位
キャリア領域	—	18科目・42単位	18科目・42単位
ゼミナール	2科目・8単位	1科目・4単位	3科目・12単位
計	2科目・8単位	59科目・124単位	61科目・132単位

(2) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

環太平洋大学は、挑戦と創造の教育を建学の精神とし、①豊かな人間性と個性、②深い専門性と実践力、③コミュニケーション能力とグローバルマインドを身に付けた人材の育成を目指している。こうした人材を育成するため、各学部教育課程により学業を修め、定められた学位授与水準（学力・能力・資質）を満たし、上記能力を持つ人材として認められる学生に対し、学士の学位を授与する。

<国際経済経営学部>

世界を視野に入れた経済・経営に関する幅広い知識と教養を土台として、深い専門性と実践力、国内外の多様な文化的・言語的背景をもつ人々と共創できる力、並びに主体的に現代社会や組織の課題に取り組む力を身に付け、新たな価値の創造や課題解決に貢献できるグローバル人材を養成する。

- DP1 他者と付き合い、感情を調整し、目標を達成できる。
- DP2 経済・経営分野における最先端かつ高度な知識・技能を獲得できる。
- DP3 国内外における経済・経営に関する課題解決のため、最先端かつ高度な知識・技能を活用できる。
- DP4 地域社会や国内外の産業界の課題を発見し、協働を通して国際社会変革の担い手として参画できる。
- DP5 国際交流を通して、異なる社会・文化・言語を理解し、地球市民として国際社会に貢献できる。

(3) 卒業の要件

本学を卒業するためには、最低4年間在学し、定める授業科目および修得単位数の要件を満たし、卒業に必要な124単位以上を修得していることが必要です。

●修業年限

修業年限とは、本学を卒業するために必要な在学期間です。また、本学に在学できる最長の期間を「在学年限」といいますが、修業年限の2倍を超えて在学することはできません。

- (1) 修業年限を超えても、履修上の要件を満たしていない、あるいは卒業に必要な単位を修得していない場合は「留年」となります。卒業判定の結果により留年となった場合は、所定の学納金を納入することで引き続き在学できますが、留年期間は最長4年までとなっています。
- (2) 休学期間は修業年限に算入されません。ただし、提携教育機関への留学などについては、修業年限に算入することが認められます。
- (3) 編入学生の修業年限は、入学を許可された年次の学生と同様の取扱いとなります。

●卒業に必要な履修科目および修得単位数の要件

科目区分から履修要件を満たすように授業科目を履修し、卒業に必要な124単位以上を修得してください。なお、編入学生の場合、入学前における大学等での修得単位については、教育上有益と認める場合、本学で履修した単位として認定します。この場合の卒業に必要な単位の履修方法は、入学許可年次の学生と同様となります。

科目区分		卒業要件単位数
		国際経済経営学科
	教養	30
	専門基礎	24
	コア	46
全体(その他科目を含む)		24
合 計		124

※ 編入学生などの入学前における大学などでの修得単位について、教育上有益と認める場合は、本学の教育課程に基づいて、本学で履修した単位として認定します。

ただし、教職科目と資格科目については、本学で履修した単位として認定はできません。

教養科目より必修科目を含む30単位以上、専門科目群である専門基礎科目から必修科目14単位を含む24単位以上、コア科目から必修科目8単位を含む46単位以上を修得し、合計124単位以上を、教育課程表に記載されている科目の中から修得してください。

●卒業判定

本学に4年以上在学し、履修要件を満たしたうえで、卒業に必要な124単位以上を修得した場合は、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学部専門分野の学位が授与されます。なお、卒業判定の結果は、3月上旬頃に通知されます。

＜授与される学位名称＞

学部・学科名称		学位名称
国際経済経営学部	国際経済経営学科	学士（経営学）

(5) 教育課程表

1) 国際経済経営学部 国際経済経営学科

<教育課程>【2026年度入学生対象】

科目区分	授業科目の名称	授業 種別	配当		単位数		備考
			年次	学期	必修	選択	
教養科目	言語・文化領域	英語Ⅰ	1	前期	2		
		英語Ⅱ	1	後期		2	※1
		英語Ⅲ	2	前期		2	※1
		英語Ⅳ	2	後期		2	※1
		多文化共生のための異文化理解	2	後期		2	※1
		小計(5科目)	5	—	2	8	
	汎用的技能領域	コンピュータリテラシーⅠ	1	前期	2		
		コンピュータリテラシーⅡ	1	後期	2		
		コンピュータリテラシーⅢ	2	前期		2	※1
		コンピュータリテラシーⅣ	3	前期		2	※1
		TOEICⅠ	1	前期		2	※1
		TOEICⅡ	1	後期		2	※1
		TOEICⅢ	2	前期		2	※1
		TOEICⅣ	2	後期		2	※1
		体育実技Ⅰ	1	前期		1	※1
		体育実技Ⅱ	1	後期		1	※1
		統計学	3	前期		2	※1
		小計(11科目)	11	—	4	16	
	リベラルアーツ	心理学	1	前期		2	
		コミュニケーションの心理学	1	後期		2	
		人間と法	1	後期		2	
		数学基礎Ⅰ	2	前期		2	
		数学基礎Ⅱ	2	後期		2	
		労働法規	2	前期		2	
		国際関係論	2	前期		2	
		小計(7科目)	7	—	0	14	
	キャリア領域	基礎ゼミナールⅠ	1	通年	2		
		基礎ゼミナールⅡ	2	通年	2		
		フレッシュマンセミナー	1	通年	2		
		ボランティア活動	1	集中		2	
		キャリアディベロップメントⅠ	2	前期	1		
		キャリアディベロップメントⅡ	2	後期	1		
		キャリアデザインⅠ	3	前期	1		
		キャリアデザインⅡ	3	後期	1		
		キャリアサポート	4	前期		2	
		小計(9科目)	9	—	10	4	
	合計(32科目)		32	—	16	42	

科目区分	授業科目の名称	授業 種別	配当		単位数		備考
			年次	学期	必修	選択	
専門基礎科目	経営学概論	講義	1	前期	2		
	経済学概論	講義	1	前期	2		メディア
	マーケティング総論	講義	1	前期	2		
	簿記入門Ⅰ	講義	1	前期	2		
	簿記入門Ⅱ	講義	1	後期	2		
	社会調査法	講義	1	前期		2	メディア
	SDGs入門	講義	1	後期		2	※2
	マクロ経済学	講義	2	前期	2		メディア
	ミクロ経済学	講義	2	後期	2		メディア
	民法Ⅰ(総則)	講義	2	前期		2	
	マーケティングリサーチ	講義	2	後期		2	メディア
	ビジネス心理学	講義	1	後期		2	
	ビジネス特別講義Ⅰ	講義	2	前期		2	
	ビジネス特別講義Ⅱ	講義	2	後期		2	
	ビジネスマナー	講義	2	後期		2	※2
	プロジェクト研究	演習	2	後期		2	
	小計(16科目)	16	—	—	14	18	
	国際経済経営領域						
	アジア太平洋のビジネス環境	講義	1	後期		2	※2 メディア
	地域企業経営論	講義	2	前期		2	※2
	世界経済論	講義	2	後期		2	※2
	国際経営論	講義	3	前期		2	※2
	サービス経済論	講義	3	後期		2	
	アジア経済論	講義	3	後期		2	※2
	小計(6科目)	6	—	—	0	12	
	国際コミュニケーション領域						
	プレゼンテーション技法	講義	2	前期		2	
	比較文化論	講義	2	前期		2	
	韓国語Ⅰ	講義	2	前期		2	※2
	韓国語Ⅱ	講義	2	後期		2	※2
	メディアカルチャー論	講義	2	後期		2	
	小計(5科目)	5	—	—	0	10	
	情報システム領域						
	VR・AR入門概論	講義	1	前期		2	
	eSports産業概論	講義	1	後期		2	
	ドローンの社会応用と演習	演習	2	前期		2	
	情報科学とAI入門	講義	2	前期		2	
	プログラミング入門(Python)	講義	2	前期		2	
	プログラミング演習Ⅰ(Excel関数とPython)	演習	2	後期		2	
	プログラミング演習Ⅱ(Python)	演習	3	前期		2	
	経営情報論	講義	3	後期		2	
	情報分析論	講義	3	後期		2	
	小計(9科目)	9	—	—	0	18	

科目区分	授業科目の名称	授業 種別	配当		単位数		備考
			年次	学期	必修	選択	
ホ テ ル ・ 観 光 領 域	ホテル経営Ⅰ	講義	2	前期		2	
	ホテル経営Ⅱ	講義	2	後期		2	
	観光行動論	講義	3	前期		2	
	観光地経営論	講義	3	前期		2	
	小計(4科目)	4	—	—	0	8	
	合計(40科目)	40	—	—	14	66	
経 営 総 合 領 域	簿記演習	演習	1	後期		2	
	流通論	講義	1	後期		2	
	消費者行動論	講義	2	前期		2	
	原価計算	講義	2	前期		2	
	財務会計	講義	2	前期		2	
	管理会計	講義	2	後期		2	
	経営組織論	講義	1	後期		2	※3
	企業経営実践論Ⅰ	講義	2	前期		2	
	企業経営実践論Ⅱ	講義	3	前期		2	
	金融論	講義	3	前期		2	
	マーケティング戦略論	講義	1	後期		2	※3
	会社法Ⅰ	講義	2	前期		2	※3
	会社法Ⅱ	講義	2	後期		2	
	民法Ⅱ(債権)	講義	2	後期		2	
	ベンチャー企業論	講義	3	後期		2	
	経営戦略論	講義	1	後期		2	※3
	企業取引法	講義	3	後期		2	
	税法	講義	3	後期		2	
	経営財務入門	講義	2	後期		2	※3
	ブランド戦略論	講義	2	後期		2	
	小計(20科目)	20	—	—	0	40	
	情報社会論	講義	2	後期		2	※3
	情報倫理と情報セキュリティ	講義	2	後期		2	
	メディア・リテラシー	講義	2	前期		2	
	デジタル・メディア論	講義	3	後期		2	
	情報産業と職業・起業	講義	3	前期		2	
	統計学入門(統計とデータ利用)	講義	1	後期		2	※3
	データサイエンス入門	講義	2	前期		2	※3
	ビジネスデータ分析	講義	3	前期		2	※3
	小計(8科目)	8	—	—	0	16	
	ホスピタリティ論	講義	1	前期		2	※3
	ホスピタリティ・マネジメント論	講義	1	後期		2	※3
	観光産業論	講義	2	前期		2	※3
	エアライン・サービス論	講義	2	前期		2	

科目区分		授業科目の名称	授業 種別	配当		単位数		備考
				年次	学期	必修	選択	
コア	・ 観光・ホスピタリティ領域	サービスビジネス実務論Ⅰ	講義	2	前期		2	
		サービスビジネス実務論Ⅱ	講義	2	後期		2	
		ホテルアセットマネジメント論	講義	2	後期		2	
		ホテル・ブライダル総合演習	演習	2	後期		2	
		旅行業経営実務	講義	2	後期		2	※3
		サービス産業実務実習Ⅰ	実習	3	前期		1	
		サービス産業実務実習Ⅱ	実習	3	後期		1	
		ホスピタリティ管理会計論	講義	3	後期		2	
		ラグジュアリー論	講義	3	後期		2	
		小計(13科目)	13	—	—	0	24	
キャリア形成	現代経営実践演習基礎Ⅰ	演習	1	前期		2		
	現代経営実践演習基礎Ⅱ	演習	1	後期		2		
	現代経営実践演習基礎Ⅲ	演習	2	前期		2		
	フィールドワーク	実習	1・2	前・後		1		
	海外研修Ⅰ	実習	1・2・3・4	前・後		1		
	海外研修Ⅱ	実習	1・2・3・4	前・後		1		
	海外研修Ⅲ	実習	1・2・3・4	前・後		1		
	海外研修Ⅳ	実習	1・2・3・4	前・後		1		
	資格検定対策Ⅰ(語学系)	演習	1・2	前期		2		
	資格検定対策Ⅱ(情報系)	演習	1・2	後期		2		
	資格検定対策Ⅲ(簿記系)	演習	2	前期		2		
	資格検定対策Ⅳ(ビジネス系)	演習	2	前期		2		
	資格検定対策Ⅴ(ICTスキル系)	演習	2	前・後		2		
	インターンシップ(企業)Ⅰ	実習	2	前・後		2	※3	
	インターンシップ(企業)Ⅱ	実習	2	前・後		2	※3	
	特別講義Ⅰ	講義	3・4	通年		4		
	特別講義Ⅱ	講義	3・4	前期		2		
	特別講義Ⅲ	講義	3・4	後期		2	メディア	
	特別演習Ⅰ	演習	3・4	通年		4		
	特別演習Ⅱ	演習	3・4	通年		4		
	特別演習Ⅲ	演習	3・4	通年		4		
小計(21科目)	21	—	—	0	45			
ゼミナール	ゼミナールⅠ(基礎)	演習	3		4			
	ゼミナールⅡ(応用)	演習	4		4			
	卒業研究	演習	4			4		
	小計(3科目)	3	—	—	8	4		

科目区分	授業科目の名称	授業 種別	配当		単位数		備考
			年次	学期	必修	選択	
合計(65科目)		65	—	—	8	129	
その他科目	他学部・他学科科目						
	他大学科目						
合計(137科目)		137			38	237	

卒業要件及び履修方法				教養科目より必修科目16単位を含む30単位以上、専門基礎科目より必修科目14単位を含む24単位以上、コア科目より必修科目8単位を含む46単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:年間48単位)なお、教養科目の選択科目のうち、※1の中から6単位以上を選択必修とする。また、専門基礎科目の選択科目のうち、※2の中から10単位以上を選択必修とする。さらに、コア科目の選択科目のうち、※3の中から14単位以上を選択必修とする。
科目区分		単位数	必修	選択
	教養科目	30	16	14
	専門基礎科目	24	14	10
	コア科目	46	8	38
	全体	24	0	24
合 計		124	38	86

「夢・挑戦・達成」
IPU・環太平洋大学

履修ガイド 2026

2026年 3 月 31日

公開 編集公開

環太平洋大学 東京キャンパス

〒272-0001 千葉県二俣625-1

Tel：047-328-6166

Fax：047-328- 6163